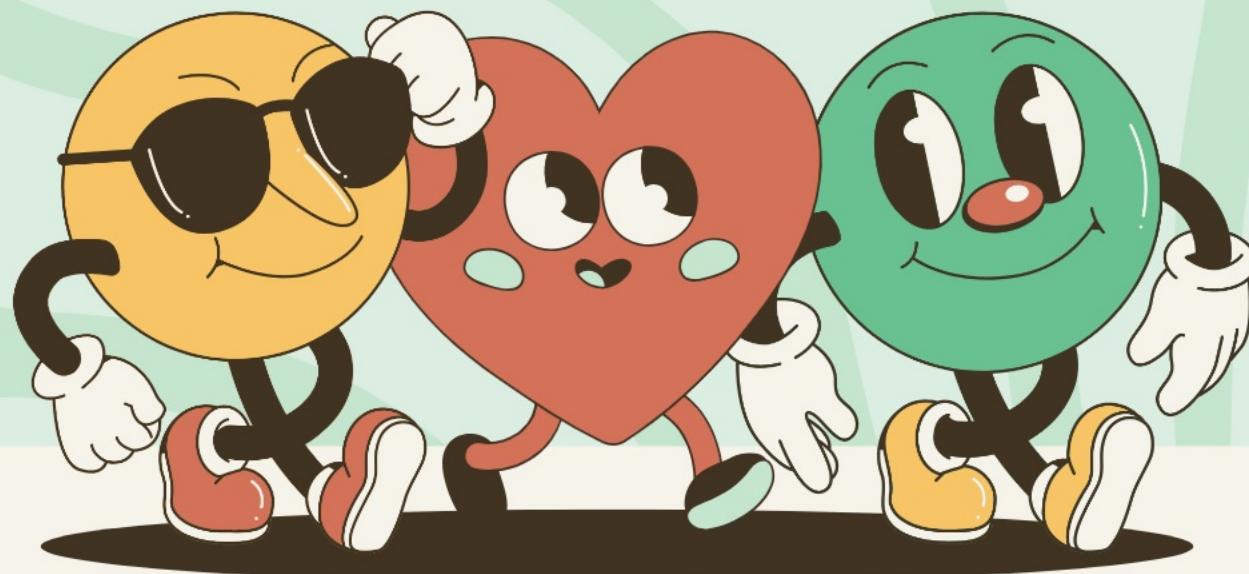


LOCAL HOST:3000



BANMAウェブ

注意!



右図のように、GitHubにアップロードすると
サポートしていない機能は表示されなくなる。

右図のurlはこちら：

<https://banmajump.github.io/KnoFashionBeya/>

インストール後、手順に従って実装してください

<https://github.com/banmaJump/KnoFashionBeya>

結論、少し失敗した...



理由：

4.失敗した要因でもう一度出てきます。

publicPathの設定ミスにより、アセットへのパスが意図せず制限されてしまった

bundleファイルの圧縮がどれくらい歪むのかを知らなかった。

作業の順番を間違えた

cssを一つのファイルにまとめて管理が複雑になった。

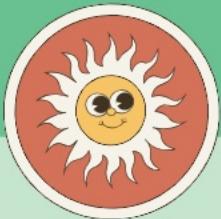
ツリー構造の交通網が不便になった。

データベースの機能について、理解が浅かった。

好奇心が先行し技術的な理解が追いつかなかった



目次



1.webサイトの目的

4.失敗した要因

2.完成した機能

反省

3.変更が必要な点

感想

1. サイトの目的

1. Kのファッショントレンドのコンテンツ拡充とユーザーエクスペリエンス向上

- YouTube動画では伝えきれない情報を補完する。
- 記事形式で情報を発信することで、ユーザーが自分のペースで情報収集し、理解を深められる。

2. グッズ販売促進

- 商品の魅力を最大限に引き出し、購買意欲を高めるUI/UXデザインを実装する。
- ユーザーが商品をスムーズに購入できるようなシステム設計を行う。

3. 将来的なUI向上

- 様々なデザイン要素を柔軟に組み込める設計を採用し、将来的なUI改善に対応できるようにする。
- ユーザーのフィードバックやデータ分析に基づいて、UIを継続的に改善していく。

1. PPM分析

目的：Kのファッショニアンチャネルの視聴者層を深く理解し、それぞれの層が持つニーズや特性を明確化する

Kのファッショニアンチャネルのユーザーは、積極的にチャンネル保有者とコンタクトを取る傾向があることから、ファッションへの関心度が高く、能動的に情報収集や自己表現を行う層であると考えられます。

具体的な行動として、

- ファッション診断への応募: ファッションに関するアドバイスを求め、自身のスタイルを向上させたいというニーズ
- 特定の動画の繰り返し視聴: 特定のブランドやスタイルへの強い興味、またはファッションに関する知識を深めたいというニーズ

などが考えられます。

1. PPM分析

目的：Kのファッショングチャンネルの視聴者層を深く理解し、それぞれの層が持つニーズや特性を明確化する

カテゴリ	ファッションへの関心度	情報感度	チャンネルへの定着度	ニーズ	戦略
花形	非常に高い	高い	高い	最先端ファッション情報、質の高いコンテンツ、限定アイテム/イベント	質の高いコンテンツ、エンゲージメント強化、限定コンテンツ/イベント、ロイヤルティ向上、収益化
金のなる木	高い	中程度	高い	好みのブランド/スタイル情報、信頼できる情報源、購買意欲を高めるコンテンツ	定期的なコンテンツ更新、関連商品紹介、限定割引、購買行動促進
問題児	高い	中程度	低い	ファッション基礎知識、自分に合ったスタイル、共感できるコンテンツ	ファッション基礎知識・コーディネート解説、チャンネルへの興味関心向上
負け犬	低い	低い	低い	ファッションへの興味関心を高めるきっかけ、分かりやすいコンテンツ、手軽に楽しめるコンテンツ	ファッションの魅力発信、ライトなコンテンツ、エンタメ要素

SつCSS、

1. 海外進出の可能性

1. 質の高いコンテンツ

- Kのファッショントレンドは、世界的に関心の高いテーマを扱っています。質の高いコンテンツを提供することで、海外のファッション愛好家からも支持を集めることができます。

2. 積極的なユーザー層

- チャンネルのユーザーは、積極的な行動を取っており熱心なファン層の存在を示唆しており、海外展開においても強力な支持基盤となる可能性があります。

3. グローバルな情報発信

- YouTubeは世界中で利用されているプラットフォームであり、言語の壁を超えて情報発信が可能です。英語字幕や多言語対応を行うことで、海外からのアクセスを増やすことができます

4. インタラクティブなコンテンツ

- ファッション診断のような双方向性の高いコンテンツは、海外ユーザーのエンゲージメントを高める効果が期待できます。

1. 海外進出の可能性

1. インタラクティブなコンテンツ

- ファッション診断のような双方向性の高いコンテンツは、海外ユーザーのエンゲージメントを高める効果が期待できます。

2. 日本のファッションへの関心

- 日本のファッションは、独自性や洗練されたデザインから、海外でも高い評価を得ています。
- Kのファッションチャンネルを通じて、日本のファッション文化を背景に発信することで海外からの注目を集めることができます。

3. 海外進出に向けた戦略

- 多言語対応、海外インフルエンサーとのコラボ海外プラットフォームへの展開
- Eコマース連携海外発送に対応したECサイトを構築し、グッズ販売を促進する。

1. ユーザー層の特定

このことから....

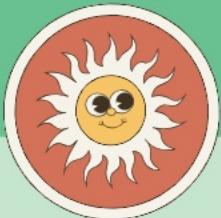
以下の事柄が必要だと言える

- YouTubeではこれまで通りの企画を進め、web版では、**YouTube動画では伝えきれない情報を補完する。**
- 記事形式の情報を発信を通して、ユーザーが自分のペースで情報収集し、理解を深められることを目指す。
- 海外進出を見越して、**多言語対応**をする。

- 問題児層は、自分と似たような悩みや関心を持つ人々との共感を重視する傾向があります。視聴者からの質問に答えるコーナーや、コーディネートの悩みを解決する企画など、共感性の高いコンテンツを提供することで、彼らの心を掴むことができます。
- そのため、web版ではこれまでの動画の総集、いくつもの**データをとりまとめて**、よりわかりやすく具体的な情報を提供する。



目次



1.webサイトの目的

4.失敗した要因

2.完成した機能

反省

3.変更が必要な点

感想

2. 完成した機能

僕のサイトにはこんな機能があります。

検索機能

- APIを自作し、予測検索機能を実装した。
今後は、もっと複雑な検索にも耐えられる
機能と通信の軽量化を図る。

データベース設計

- データベースから情報を任意の場所に出力
することができる。今後は、データベース
の空間効率の向上を図る。

APIの準備

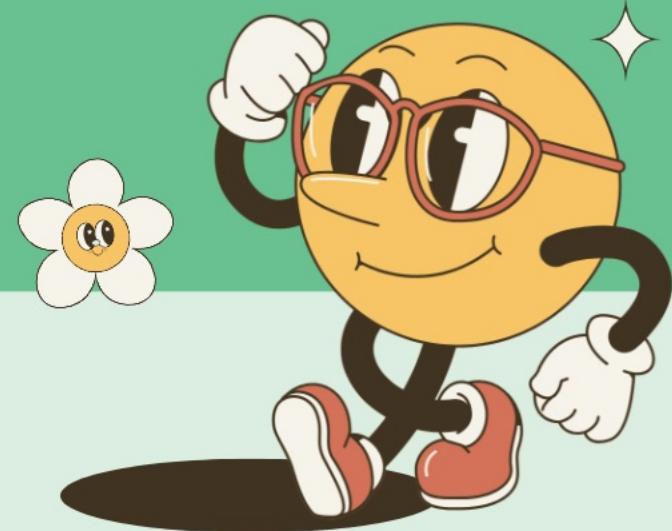
- 今後、初期のFacebookのような分析機能
を付け加えるための土台となる各種ページ
のコーディングを済ませた。

通信速度の大幅な向上

- Webpackというツールを用いて、複数ファイルを1つにまとめて一回の読み込み時間を大幅に減らし、ユーザサイドだけでなくサーバーサイドにも優し鉄物を作った。

UI向上！；slick機能

- node_modulesを用いて、slick機能を追加した。また、cssのみでめくれる機能、jsを用いたハンバーガーメニューの採用などUI向上の足掛かりとなるようなものを取り入れている。



2. 完成した便利作物

```
INSERT INTO articles (id, brand_id, title, title_content,
created_at, collection_id, status, genre, link, image_url,
image_id)
VALUES
(1, 1, 'グッチ23SSに...', '先日行われたグッチの2023年春夏
コレクション...', '2022-09-24', 1, 'NOLL', 'ブランド',
'images/gucci23ss.jpg', 1),
(2, 2, '圧倒的No.1ブ...', 'ミラノファッショニークで圧
倒的な存在感...', '2022-07-21', 2, 'HULL', 'ブランド',
'images/jw_anderson23ss.jpg', 2);
```

[初期設定]

- ・以下の順にターミナルに打ち込む
 - npm install webpack-dev-server@latest
 - npm run build
 - npm run backend
 - npm start
- ・DB設定
左図のようにしてデータを入力していく。
その後、webアプリとDBを結ぶために以下を打ち込む
 - mysql -u root -p

```
mysql> SHOW TABLES;
+-----+
| Tables_in_schema_blog |
+-----+
| articles |
| brands |
| collections |
| designers |
| goods |
| images |
| links |
| Radios |
| Vlogs |
+-----+
9 rows in set (0.00 sec)
```

2. 完成したナリイ作物

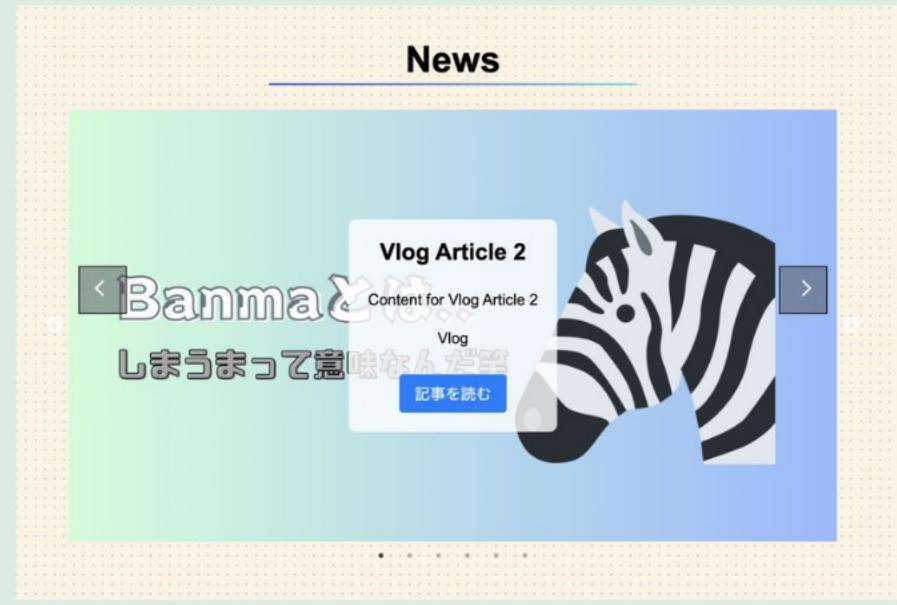


- カーソルを合わせると、フリップが捲れるような仕様になっています。
- 左下にあるように、「今すぐチェック」をクリックすると、各リンク先に遷移します。

2. 完成したナリイ作物



- スライダー機能で最新の記事を表示します。
- 10秒おきに自動で右に遷移します。
- 最大6つの記事を表示してくれます。



- 中央をクリックすると、articlesテーブルの title,title-contentカラムのデータが表示される。

2. 完成したナリイ作物

The image consists of two side-by-side screenshots. On the left is a dark-themed website for 'Kのファッション部屋'. The header features the site's name in white. Below it is a paragraph of Japanese text. At the bottom of the page is a footer with navigation links: Home, About, Goods, Radio, Vlogs, and News. A copyright notice 'Company Name © 2024' is at the very bottom. On the right is a screenshot of a web browser window. The address bar shows 'localhost:3000/beneeeeeeeeefit'. The page content says '復旧中' (Under construction) and 'まだ作っていません' (Not yet implemented). The browser's toolbar includes various icons for search, refresh, and sharing.

- 緑色の、「Company Name © 2024」をクリックすると、ejsファイルにつながります。
- 今は特になんのデザインもしていません。

2. 完成したAPI作成

Kのファッショングループ

Home ラジオ 記事 Vlog グッズ

Goods

This is the first good.

Good 1 New

This is the second good.

Good 2 New

This is the third good.

Good 3 New

Message for Good 1

- <http://localhost:3000/goods>に移動。
- ipodとエネオスのデザインから似たような感じにしたけど、違和感だけが残った。
- クリック場所が、少しだけ大きくなる。
- これ作ってる時は、あっという間だったけど楽しかった。

Goods

This is the first good.

Good 1 New

This is the second good.

Good 2 New

This is the third good.

Good 3 New

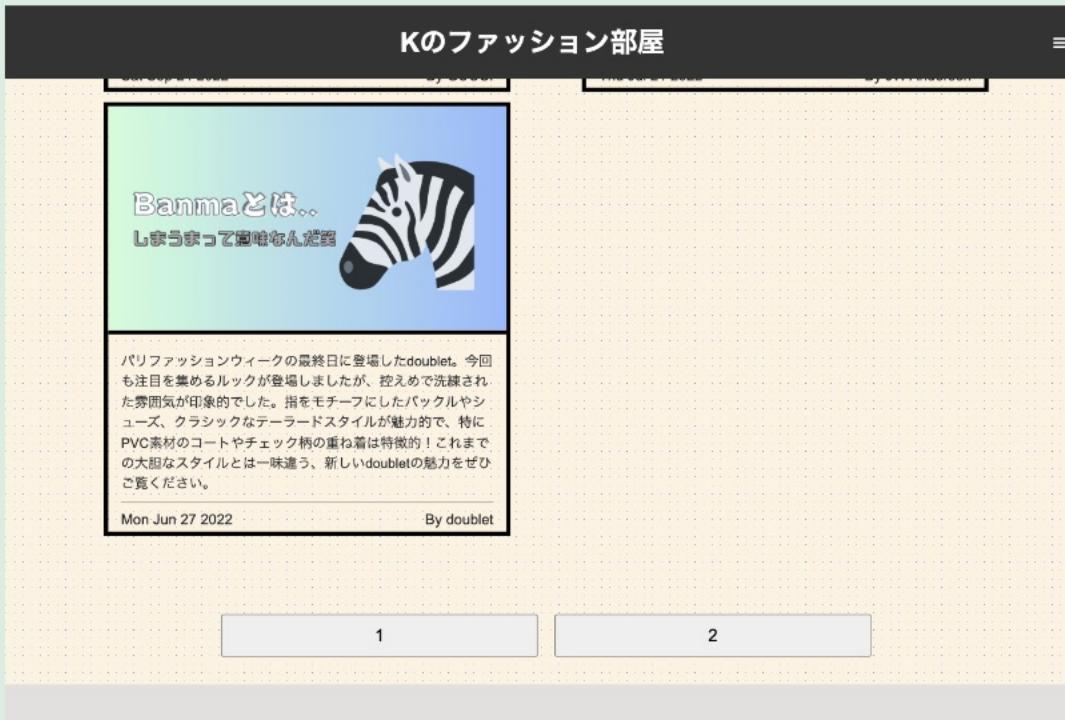
Message for Good 1

2. 完成したナリイ作物



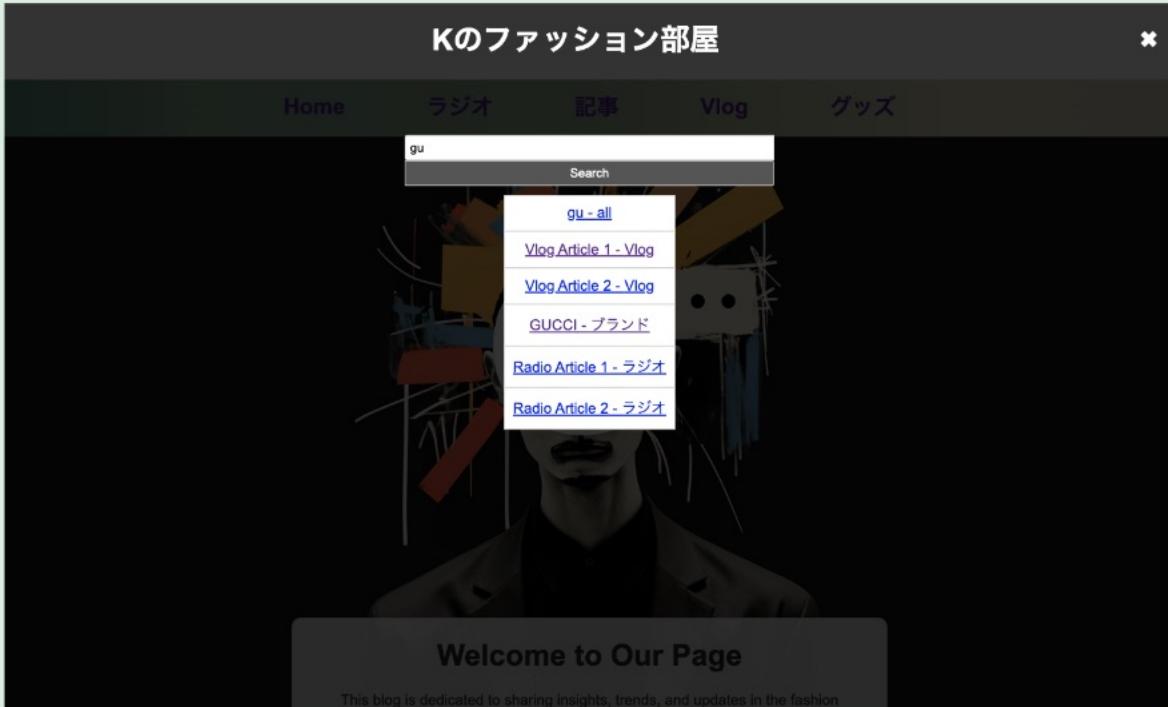
- <http://localhost:3000/brands>に移動。
- カテゴリを設定。中央から左手にジャンル毎に名前を変える機能がある。
- 最新順から表示。中央から右手にソート機能を追加している。
- ユーザが「Gucci」と検索をかけてもジャンルが“ラジオ”なのか、“一般記事”なのか、“Vlog”なのかによってもユーザが求めるものは違うので、ユーザが選択しやすいようにバックエンドではして。現在、フロントでは、赤帯に書かれたジャンルをクリックすることで、検索欄の内容のカテゴリに遷移する仕組みになっている。

2. 完成したナリイ作物



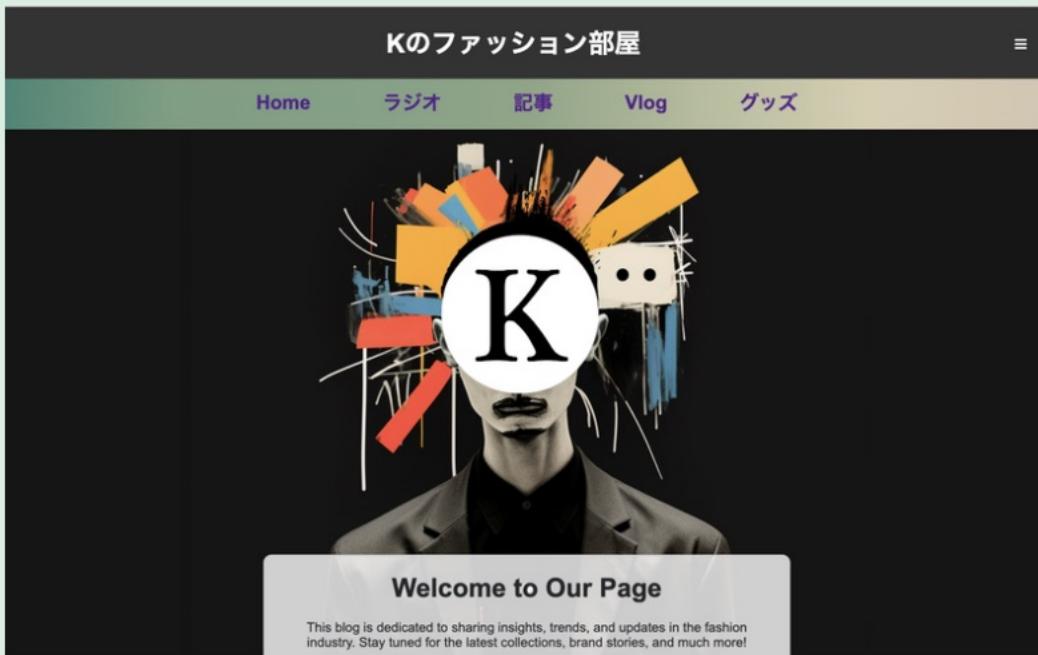
- ページネーション機能を追加。
- 現在ページは少しだけ明るい色。

2. 完成したナリイ作物



- 予測検索機能あり。
- ユーザは検索したワードのほかに、各目的(ジャンル)に応じたページを検索欄の段階から同時に選択できる。

2. 完成したナリイ作物

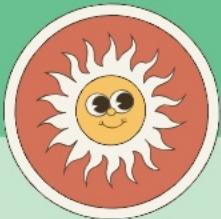


因みに...

- headerの色(グラデーション)がgithubのページと違うのは、webpackで1つのファイルにまとめていても、GitHubの都合で読み込めないファイルが存在するからっぽい。



目次



1.webサイトの目的

4.失敗した要因

2.完成した機能

反省

3.変更が必要な点

感想

3. 変更が済むなところ

命名規則の統一：

コードの可読性を向上させるために、コンポーネント名や変数名、ファイル名などに一貫性のある命名規則を適用する。

bundleファイルの一部廃止：

画像が圧縮されてしまっており、意図しない結果を招いた。また、webpackのpublicPathの設定ミスにより、不具合が生じている。

CSS-in-JSライブラリ：

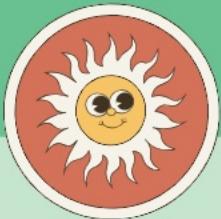
コンポーネントごとにスタイルをカプセル化できるライブラリの導入または実装を検討する。

データベース設計の見直し：

複数のテーブルで重複するカラムが存在し、データの整合性維持の負荷が高まっている。正規化を進めることで、データの冗長性を解消し、メンテナンス性を向上させることが可能。



目次



1.webサイトの目的

4.失敗した要因

2.完成した機能

反省

3.変更が必要な点

感想

4. 失敗した要因



理由：

publicPathの設定ミスにより、アセットへのパスが意図せず制限されてしまった

bundleファイルの圧縮がどれくらい歪むのかを知らなかった。

作業の順番を間違えた

cssを一つのファイルにまとめて管理が複雑になった。

ツリー構造の交通網が不便になった。

データベースの機能について、理解が浅かった。

好奇心が先行し技術的な理解が追いつかなかった

4. 失敗した要因



理由：

データベースの機能について、理解が浅かった。

DB設定よりもAPIの設定が難しく、ページの数だけ応答の数、種類を増やしてしまったのでその分テーブルやカラムが増えてしまった。次回からは、DBのカラムを設定したのちにAPIをそしてその後コンポーネントをどう分けるか考えた方が安全に正確に作れると感じた。

ツリー構造の交通網が不便になった。

大規模なシステム設計を前提に開発を進めた結果、ファイル数が増大し、コードの管理が複雑化した。特に、画像のインポートやコンポーネント間のデータのやり取りにおいて、その複雑さが顕著だった。

作業の順番を間違えた

最初にデータベース設計を行わずに、フロントエンドの開発を進めたため、データ構造の変更に伴い、何度もフロントエンドのコードを修正する必要が生じた。githubであらかじめ似たようなサイトを調査しておけばよかったです。

4. 失敗した要因

理由：



publicPathの設定ミスにより、アセットへのパスが意図せず制限されてしまった

=>webpack.common.jsの13行目の設定はそれ以下の階層でしか効かないためstaticディレクトリ傘下のもの以外には適用されない。そのため、favicon.ico(階層が上のtemplate.htmlに入れる)は読み込めなかった。

cssを一つのファイルにまとめて管理が複雑になった。

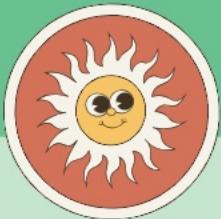
=>コンポーネント毎にCSSを割り振るのは、重複作業で余計な容量を取るが、コピペすればいいだけなので作業量はほぼ変わらずさらに、リスクを分散させられる。また、分けた方がレスポンシブ対応やその後の変更がしやすいことがわかった。

好奇心が先行し技術的な理解が追いつかなかった

=>Webpackの概念の理解が不十分なまま開発を進めた結果、画像圧縮の設定に誤りがあり、意図せぬ画質の劣化が発生した。さらに、参照できる既存のコードがない状況で開発を進めたため、システムの構造が複雑化し、問題点の特定が困難に。



目次



1.webサイトの目的

4.失敗した要因

2.完成した機能

反省

3.変更が必要な点

感想

反省

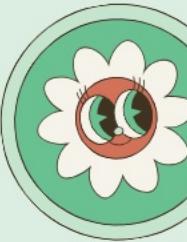
今回のプロジェクトでは、Gitの使い方に慣れておらず、他人のリポジトリを自分の環境にクローンする方法を知らなかったため、開発の初期段階で躓いてしまいました。また、開発環境の構築に不安があり、手を出しにくかったことも要因の一つです。Gitの使い方を事前にしっかりと学習し、開発環境を構築する手順を理解しておくべきでした。

さらに、webpackの理解不足も大きな課題でした。webpackの設定を十分に理解していなかったため、ビルドの際に予期せぬエラーが発生し、時間を浪費してしまいました。また、画像の圧縮についても、事前にネットで調査することができたのにも関わらず、目視での確認を怠り、画質の低下に気づけませんでした。これは、明らかに私の怠慢であり深く反省しています。

今後は、webpackに関するドキュメントをしっかりと読み込み、設定を理解するように努めます。また、画像圧縮ツールを積極的に活用し、画質とファイルサイズのバランスを考慮した最適な設定を見つけるよう心掛けます。

今回の経験を通して、技術的な知識の不足だけでなく、自己学習の重要性も痛感しました。今後は、積極的に新しい技術を学び、スキルアップに努めていきたいと考えています。

感想



今回のプロジェクトを通して、技術的なスキルだけでなく、読者の視点に立ってコンテンツを作成することの重要性を改めて実感しました。特に、SEO対策に取り組む中では、情報設計の難しさや面白さを知ることができました。今後は、より多くのユーザーに楽しんでもらえるような、インタラクティブなコンテンツを作成していきたいと考えています。





詳しくはこちう!



GITHUBのWEBページ

<https://banmajump.github.io/KnoFashionBeya/>

ホームページ(仮)

<https://dkuadbckjdcbjcn>